

2020年3月期 第2四半期決算

# 説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2019年10月31日



# 2020年3月期 第2四半期決算のポイント

## 経営課題の進捗について

- 財務体質改善
- 石炭火力を当社最大のリスクと捉え、CO<sub>2</sub>の排出量削減及び利活用に徹底的に取り組む
- 次期中計策定までに成長軌道の道筋をつける

# 2020年3月期 第2四半期決算のポイント

## 今期業績について

- 期末の業績予想を精査した結果、2019年4月26日に公表した数値を下方修正
- 半導体市場は踊り場から脱しつつあるが、顧客により回復の度合いに違いがあり、本格回復は来期以降
- 原燃料コストでは、石炭価格が低位で推移するものの、コストメリットが本格的に現れるのは下期から

# CONTENTS

- 1 2020年3月期 第2四半期決算
- 2 2020年3月期 業績予想
- 3 トピックス
- 4 補足資料

# ① 2020年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

## 1. 決算概要

(億円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	1,526	1,527	+0	+0	主力製品を中心に販売が軟調に推移 新規連結子会社発生に伴う売上高の増加
営業利益	170	146	△24	△14	主力製品を中心に販売が軟調に推移
経常利益	154	136	△18	△12	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 四半期純利益	128	104	△24	△19	経常利益の減少
1株当たり 当期純利益(円)	184.55	149.75	-	-	-
為替(円/\$)	110	109	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kl)	51,100	42,700	-	-	-

# 1. 決算概要

(億円)

	2019年 3月末	2019年 9月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,796	3,731	△64	受取手形及び売掛金の減少
自己資本	1,527	1,601	+73	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	40.2%	42.9%	+2.7ポイント	-
有利子負債	1,289	1,224	△65	長期借入金の減少
D/Eレシオ	0.84	0.76	△0.08	-
ネットD/Eレシオ*	0.40	0.28	△0.12	-
1株当たり純資産 (円)	2,199.83	2,305.30	-	-

\*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

## 2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

(億円)

	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	481	87	463	75	△18	△4	△12	△15
特殊品	268	43	246	28	△22	△8	△14	△35
セメント	439	14	427	11	△12	△3	△2	△16
ライフアメニティー	261	16	277	15	+16	+6	△1	△8
その他	281	17	322	24	+40	+14	+7	+41
計	1,732	179	1,736	155	+4	+0	△24	△13
セグメント間消去・ 全社費用	△205	△9	△209	△9	△3	-	+0	-
連結決算	1,526	170	1,527	146	+0	+0	△24	△14

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

\* 当期・前年同期ともに報告セグメントの変更を反映した数値を記載

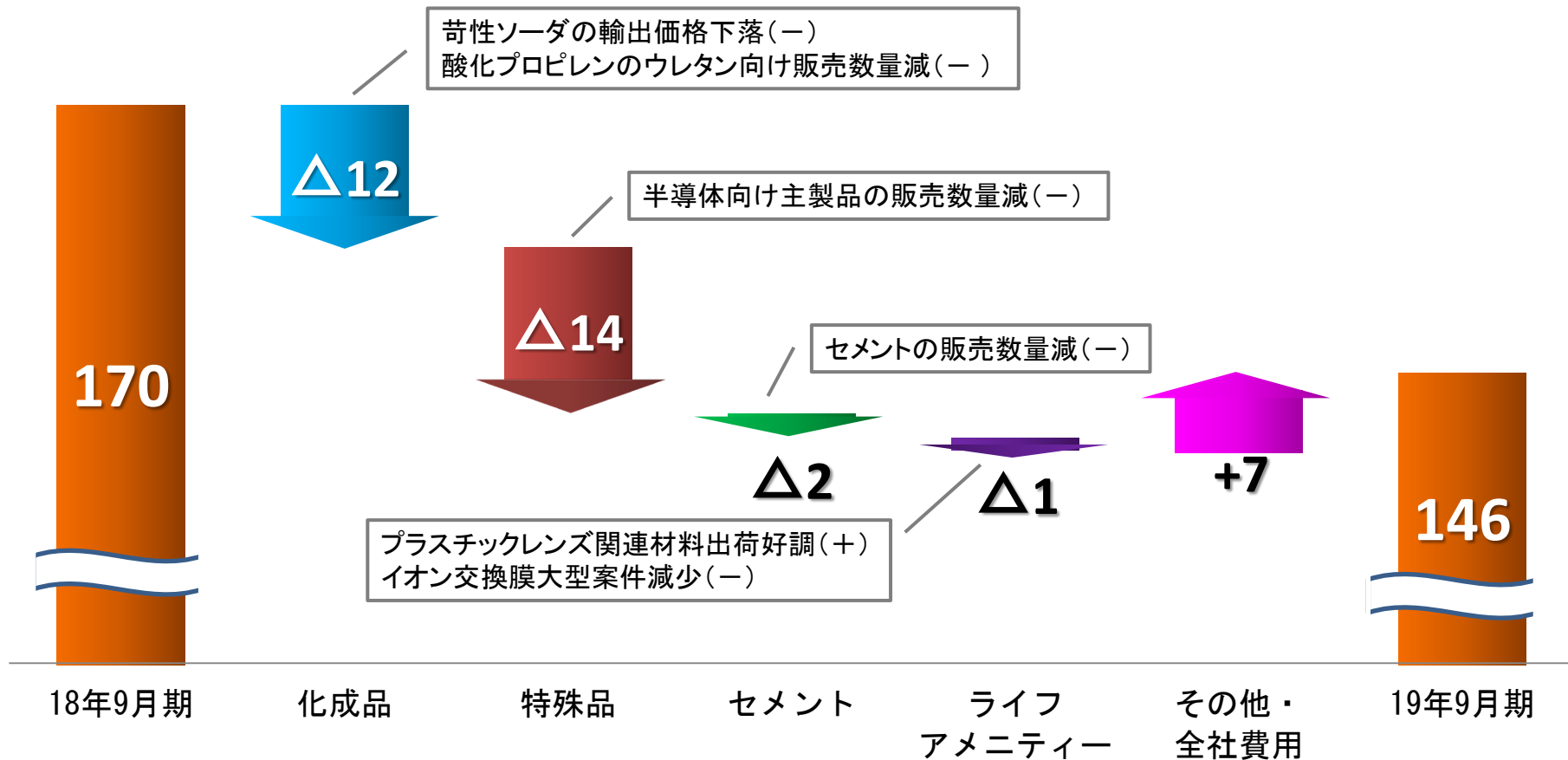


# 3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

(億円)

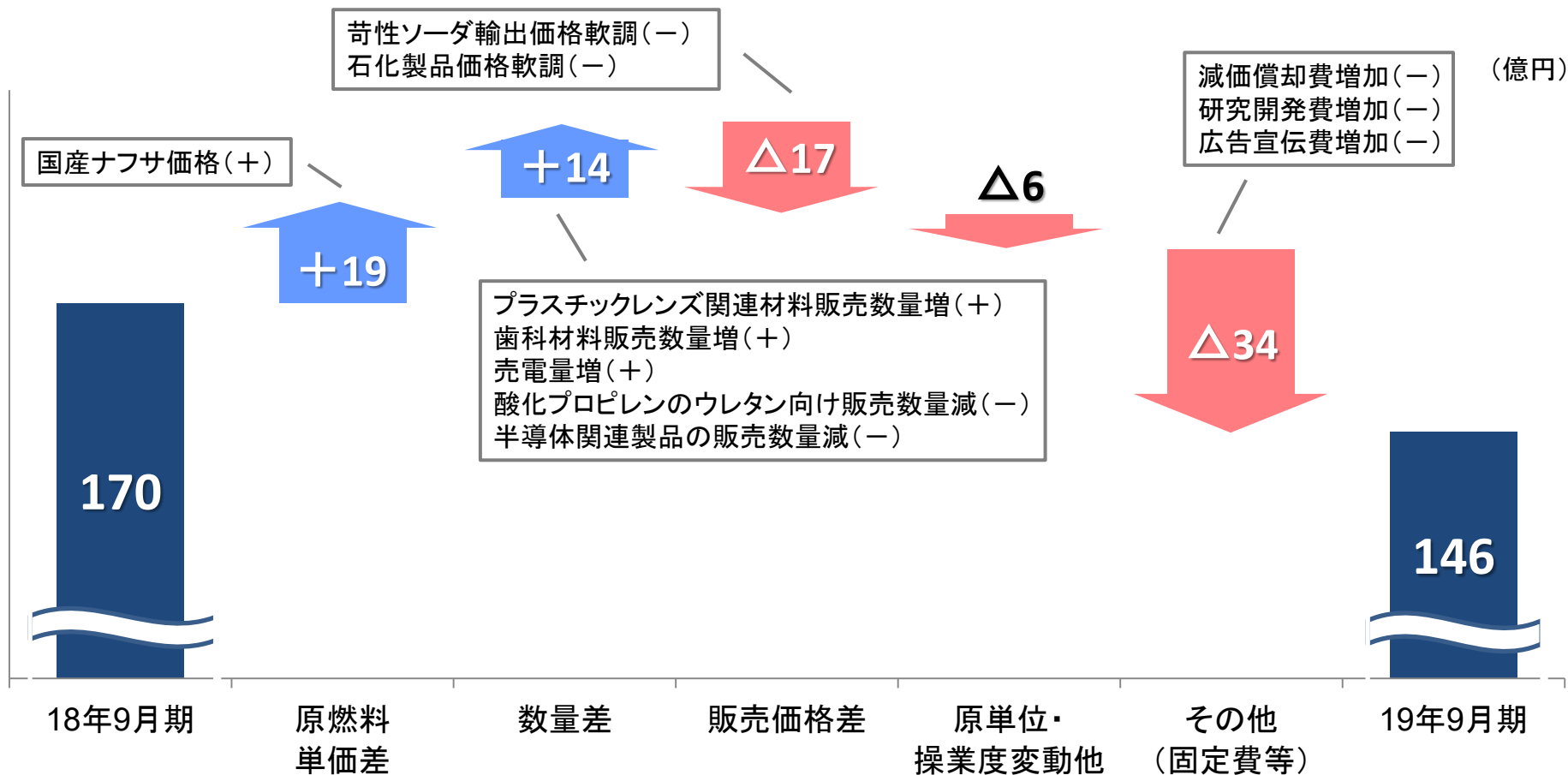
## セグメント別



# 3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

## 要因別



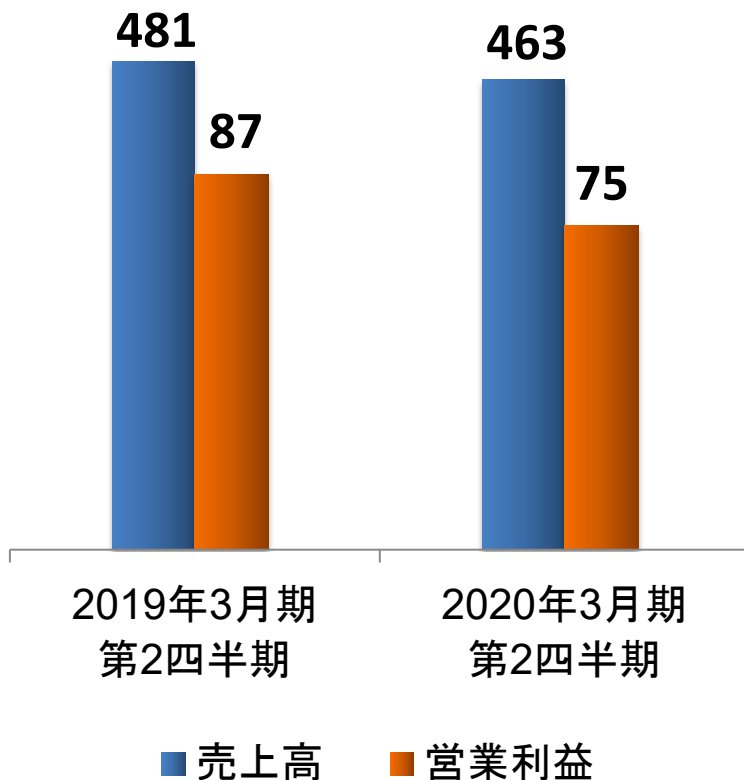
## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

### 化成品

### 減収減益

### 定性情報

(億円)



(苛性ソーダ)

・販売数量は堅調に推移したものの、原料価格の上昇および海外市況の下落により、減益

(塩ビ樹脂)

・スプレッド維持に努めたことにより、増益

(酸化プロピレン)

・ウレタン向けの販売数量が減少したことにより、減益

(塩化カルシウム)

・販売数量が軟調に推移したこと、物流費の増加等により、減益

## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

### 特殊品

### 減収減益

### 定性情報

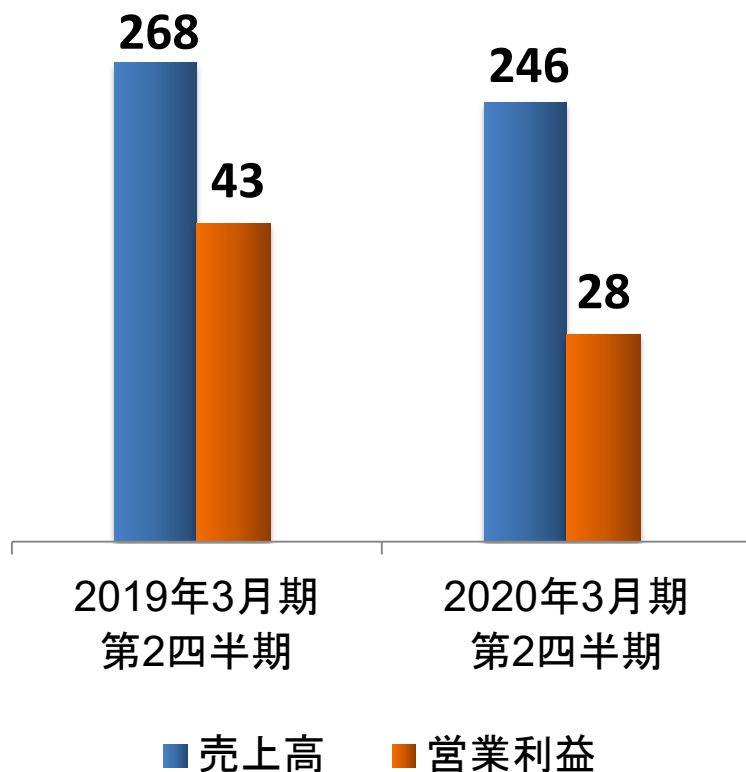
(億円)

(半導体向け多結晶シリコン 及び 放熱材)

- ・半導体市場の回復遅れにより、販売数量が減少し、減益

(電子工業用高純度薬品)

- ・海外向けを中心として販売数量が回復し、前年同期並み



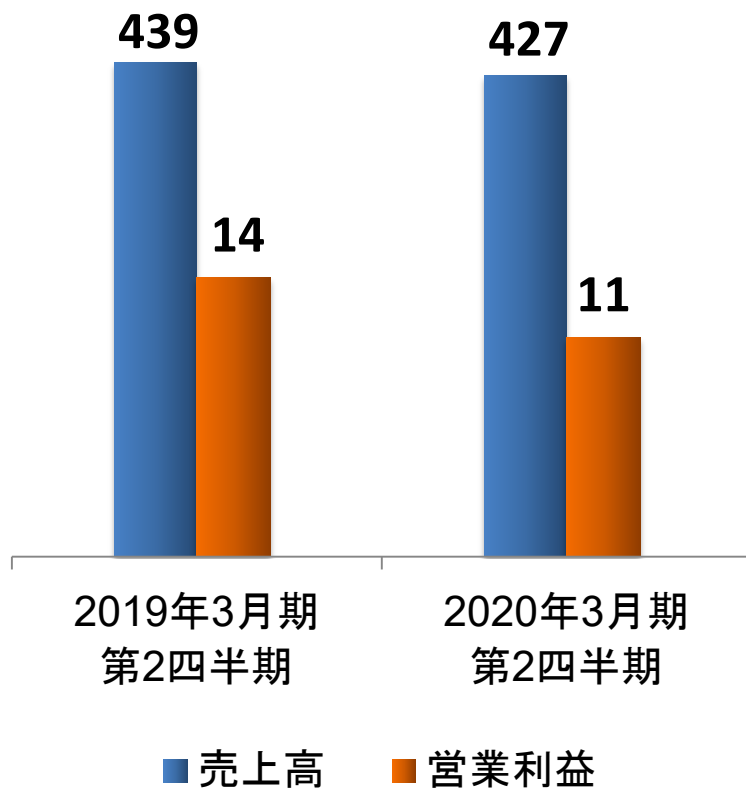
## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

セメント

減収減益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・一部価格是正の効果はあったものの、販売数量が減少したこと等により、減益

(資源リサイクル)

- ・ほぼ前年同期並み業績

(連結子会社)

- ・生コンクリートの出荷が堅調に推移し、前年並み業績

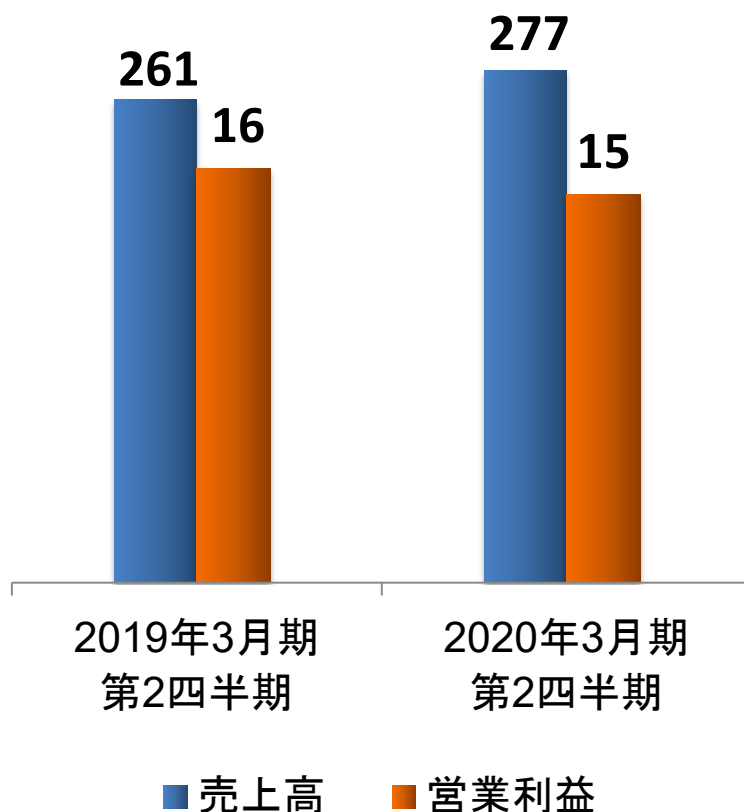
## 4. セグメント別売上高／営業利益増減分析（前年同期比）

### ライフアメニティー

増収減益

定性情報

（億円）



（プラスチックレンズ関連材料）

- ・メガネレンズ用フォトクロミック材料の販売数量が増加し、増益

（歯科器材）

- ・海外を中心に販売数量は増加したものの、新製品の上市に伴う広告宣伝費の増加により、減益

（医療診断システム）

- ・検体検査自動化システムで国内の大型案件を獲得し、増益

（イオン交換膜）

- ・大型案件の減少により、減益

\* 当期・前年同期ともに報告セグメントの変更を反映した数値を記載

## **2** 2020年3月期 業績予想

- 1. 業績予想修正**
- 2. セグメント別業績予想修正**



## 1. 業績予想修正

(億円)

	2020年3月期予想 (2019/4/26公表)	2020年3月期予想 (2019/10/31修正)	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,430	3,220	△210	△6	半導体市場回復の遅れ 苛性ソーダ海外市況の下落
営業利益	390	350	△40	△10	売上高の減少
経常利益	390	340	△50	△13	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	305	260	△45	△15	経常利益の減少
1株当たり 当期純利益(円)	438.88	374.35	-		-
為替(円/\$)	110	上期実績:109	-		-
		下期前提:105			
国産ナフサ価格 (円/kl)	44,000	上期実績:42,700	-		-
		下期前提:40,000			

今後の事業環境については、為替、原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、半導体市場の回復が当初の想定より遅れる見込みであることや、最近の業績動向等を踏まえ、2019年4月26日に公表した数値を修正する。



## 2. セグメント別業績予想修正

(億円)

	2020年3月期予想 (2019/4/26公表)		2020年3月期予想 (2019/10/31修正)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,030	185	960	165	△70	△7	△20	△11
特殊品	670	110	570	75	△100	△15	△35	△32
セメント	940	35	900	40	△40	△4	+5	+14
ライフアメニティー	580	40	580	40	-	-	-	-
その他	640	45	630	50	△10	△2	+5	+11
計	3,860	415	3,640	370	△220	△6	△45	△11
セグメント間 消去・全社費用	△430	△25	△420	△20	+10	-	+5	-
連結決算	3,430	390	3,220	350	△210	△6	△40	△10

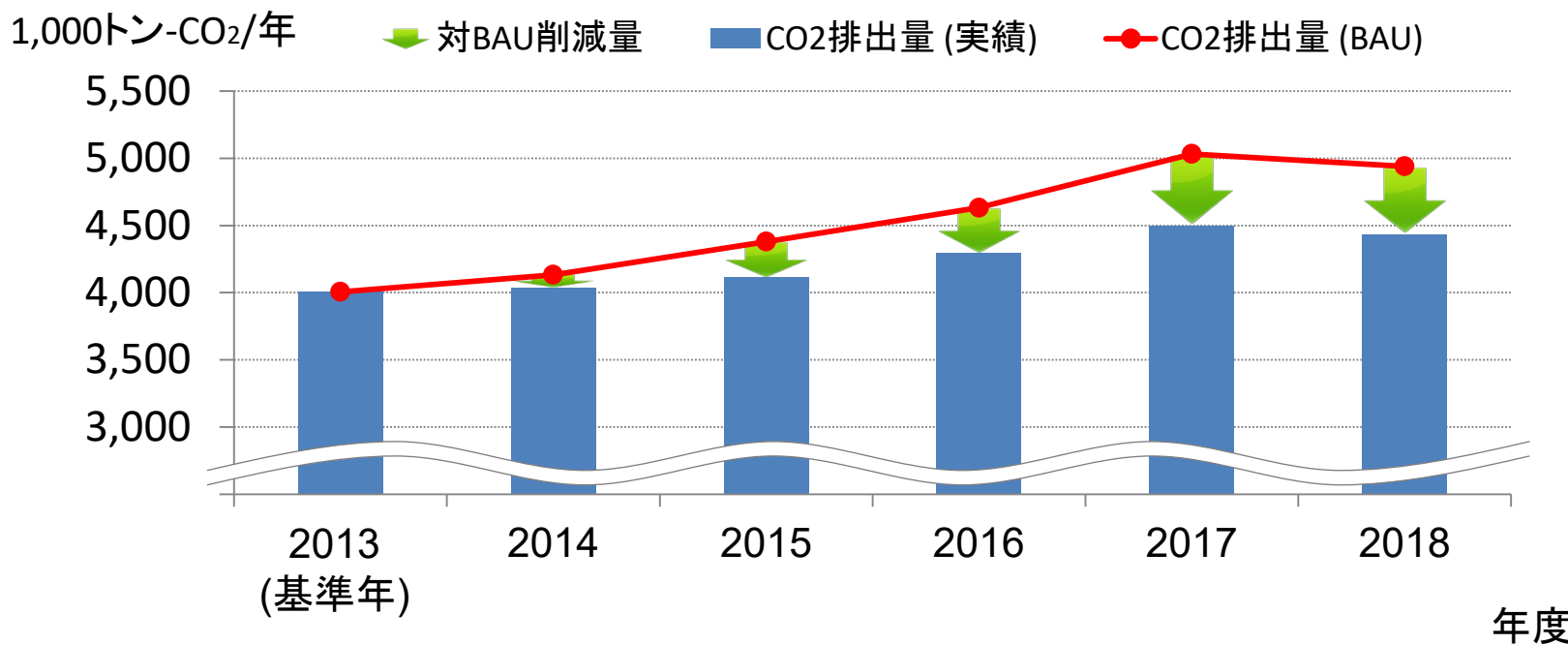
(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

### 3 トピックス

1. CO<sub>2</sub>削減の取り組み
2. 中期経営計画の進捗

# 1. CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組み

- 地球温暖化防止のため、温室効果ガス排出量削減を目指し、エネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出の削減目標を設定  
⇒ 2030年度にBAU(2013年度基準)比で15%削減



※ BAU (Business as Usual): 削減対策をしない場合の排出量

# 1. CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組み

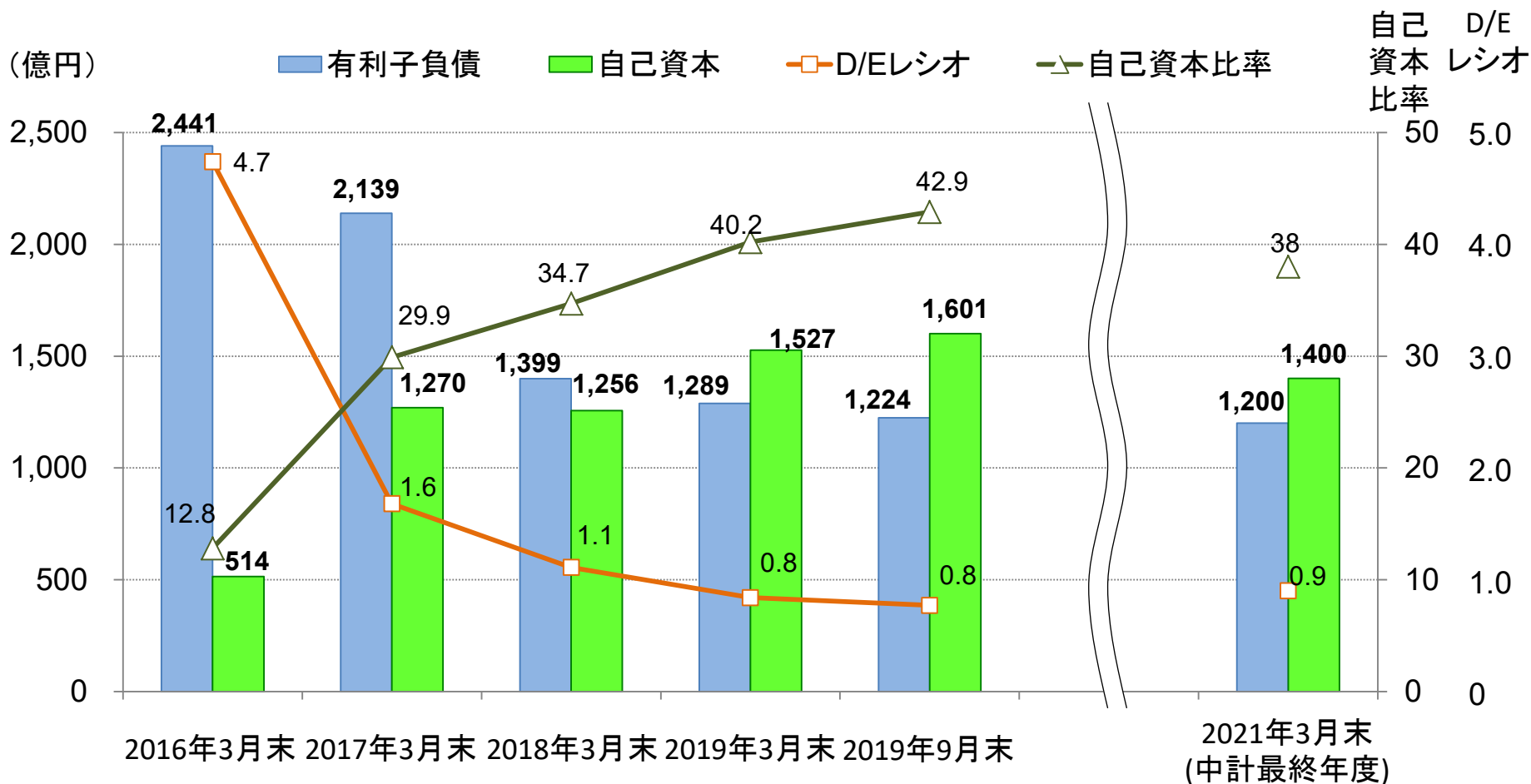
- CO<sub>2</sub>排出量削減推進のための組織を立ち上げ
- 投資評価制度を見直し、CO<sub>2</sub>排出削減投資を促進
- 以下の課題解決を中心にCO<sub>2</sub>排出量削減を推進
  - 新規技術開発
    - CO<sub>2</sub>の回収・利活用
  - 再生可能エネルギー導入
    - バイオマス混焼
    - エネルギーミックス
  - 徳山製造所のエネルギー効率の最適化

## 2. 中期経営計画の進捗（成長事業の取り組み）

	現状での取り組み	成長に向けた施策
半導体向け 多結晶シリコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 品質向上投資</li> </ul>	さらなる品質向上による 他社製品との差別化
電子工業用 高純度薬液 (TMAH、IPA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 台湾第2工場建設による供給体制の強化（'19年2月出荷開始）</li> <li>■ 生産能力増強（TMAH） '20年4月 50%増</li> <li>■ 中国本土での供給拠点</li> </ul>	
放熱材	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生産能力増強 '20年4月 600トン/年→840トン/年</li> <li>■ 白板製造能力増強 '20年中頃 20%増</li> </ul>	生産能力増強、供給体制整備を通じて幅広い顧客獲得による事業拡大
歯科器材	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大型新製品（コンポジットレジン）を北米に続いて欧州で本格展開</li> </ul>	新製品を足場に北米・欧州市場でのシェア向上、事業拡大
メガネ関連材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 顧客との連携を活かして販売拡大</li> <li>■ 特有技術の他分野への展開</li> </ul>	グローバル市場でシェア拡大

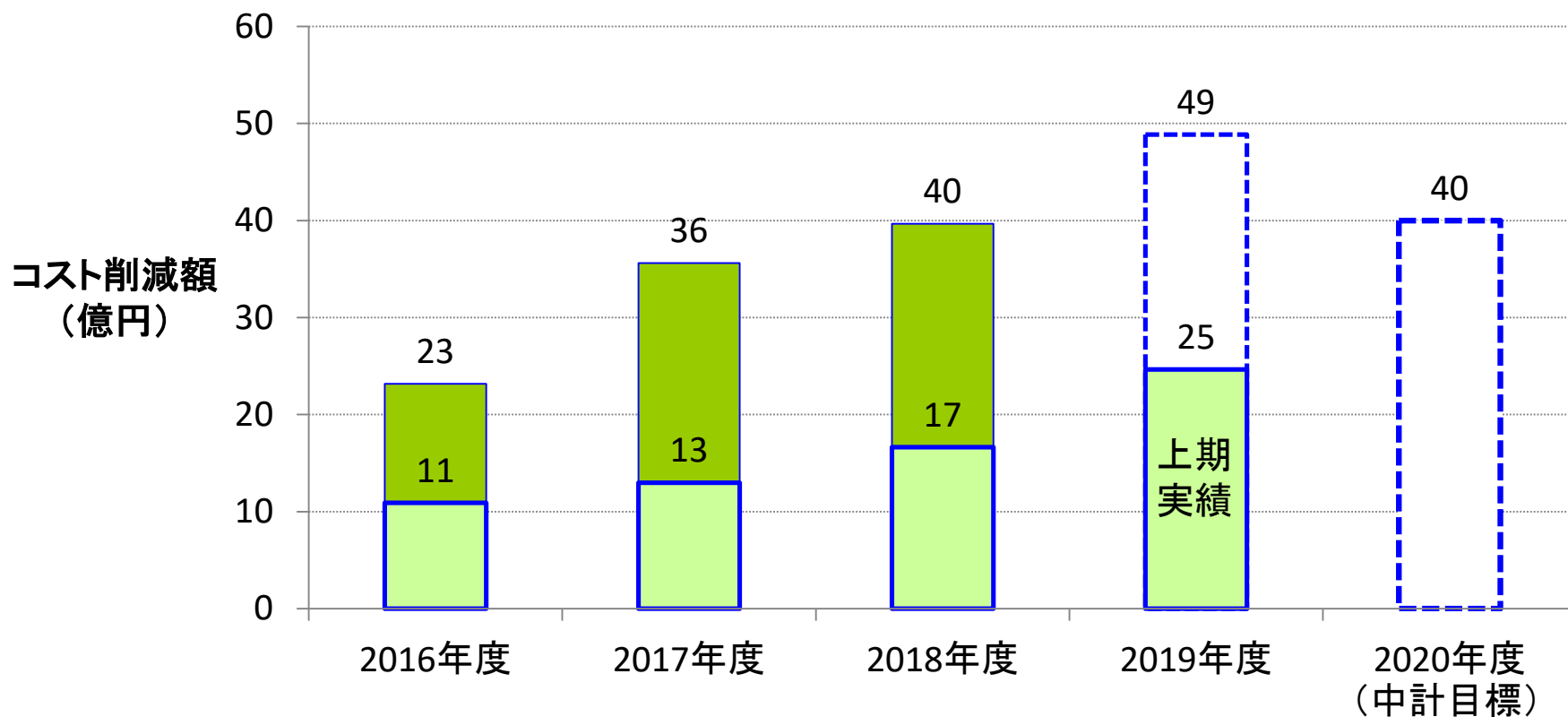
## 2. 中期経営計画の進捗(財務体質改善)

- 中計最終年度の目標財務指標を達成



## 2. 中期経営計画の進捗(BRIGHT-II)

- 2019年度上期のコスト削減額は、2018年上期実績を大幅に上回る進捗。
- 中計目標を今年度達成の見込み。



Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**





## **4** 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 営業外損益・特別損益・金融収支
3. 投資実績・計画
4. 業績推移
5. 設備投資額・減価償却費推移
6. 有利子負債残高推移
7. フリー・キャッシュフロー推移

4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 損益計算書

(億円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	差損益	
			金額	%
売上高	1,526	1,527	+0	+0
売上原価	1,052	1,062	△10	△1
販管費	304	318	△14	△5
営業利益	170	146	△24	△14
営業外損益	△15	△9	+5	-
経常利益	154	136	△18	△12
特別損益	4	△2	△6	-
税前四半期純利益	159	134	△24	△16
法人税等	27	26	+0	+2
非支配株主損益	3	3	+0	+2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	128	104	△24	△19

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

# 1. 連結財務諸表(要約)

## 貸借対照表

(億円)

	2019年3月末	2019年9月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,796	3,731	△64	△2
流動資産	2,029	1,934	△95	△5
有形固定資産	1,161	1,181	+20	+2
無形固定資産	19	16	△2	△14
投資その他の資産	586	599	+13	+2

	2019年3月末	2019年9月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,161	2,021	△139	△6
流動負債	932	843	△89	△10
固定負債	1,228	1,178	△49	△4
純資産合計	1,635	1,710	+74	+5

4 補足資料

## 2. 営業外損益・特別損益・金融収支

連結（前期比）

（億円）

		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	2	2	+0
	その他	26	22	△3
	計	29	25	△3
営業外費用	支払利息	15	8	+7
	その他	28	26	+2
	計	44	35	+9
営業外損益		△ 15	△ 9	+5
特別利益		10	1	△9
特別損失		6	3	+2
特別損益		4	△ 2	△6
金融収支		△ 12	△ 5	+7

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

### 3. 投資実績・計画

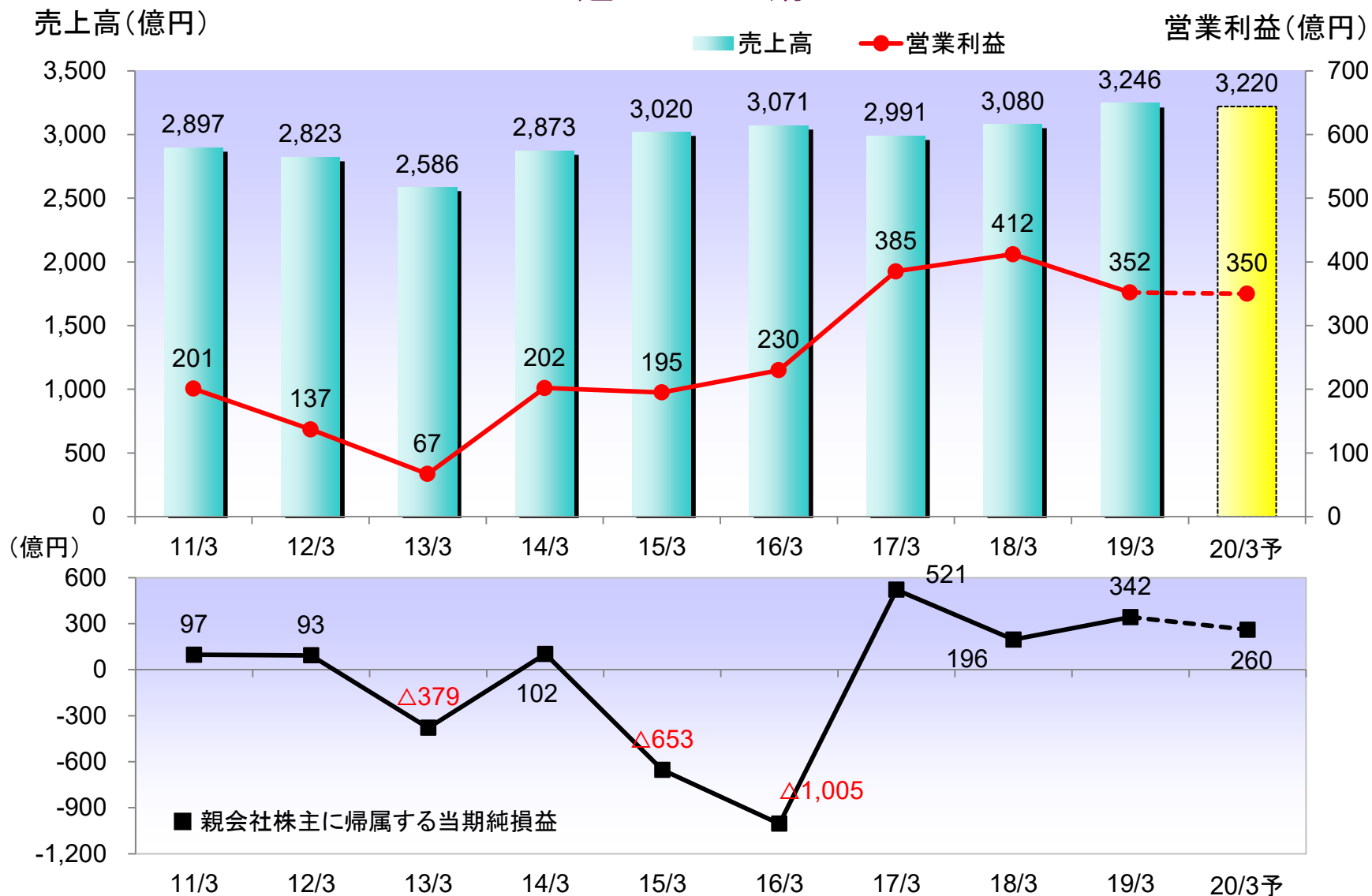
連 結

(億円)

	2019年3月期		2020年3月期		増 減	
	上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 予想	上期	通期
設備投資額	89	185	105	275	+15	+89
減価償却費	70	150	76	167	+5	+16
研究開発費	38	80	42	90	+4	+10

# 4. 業績推移

通 期

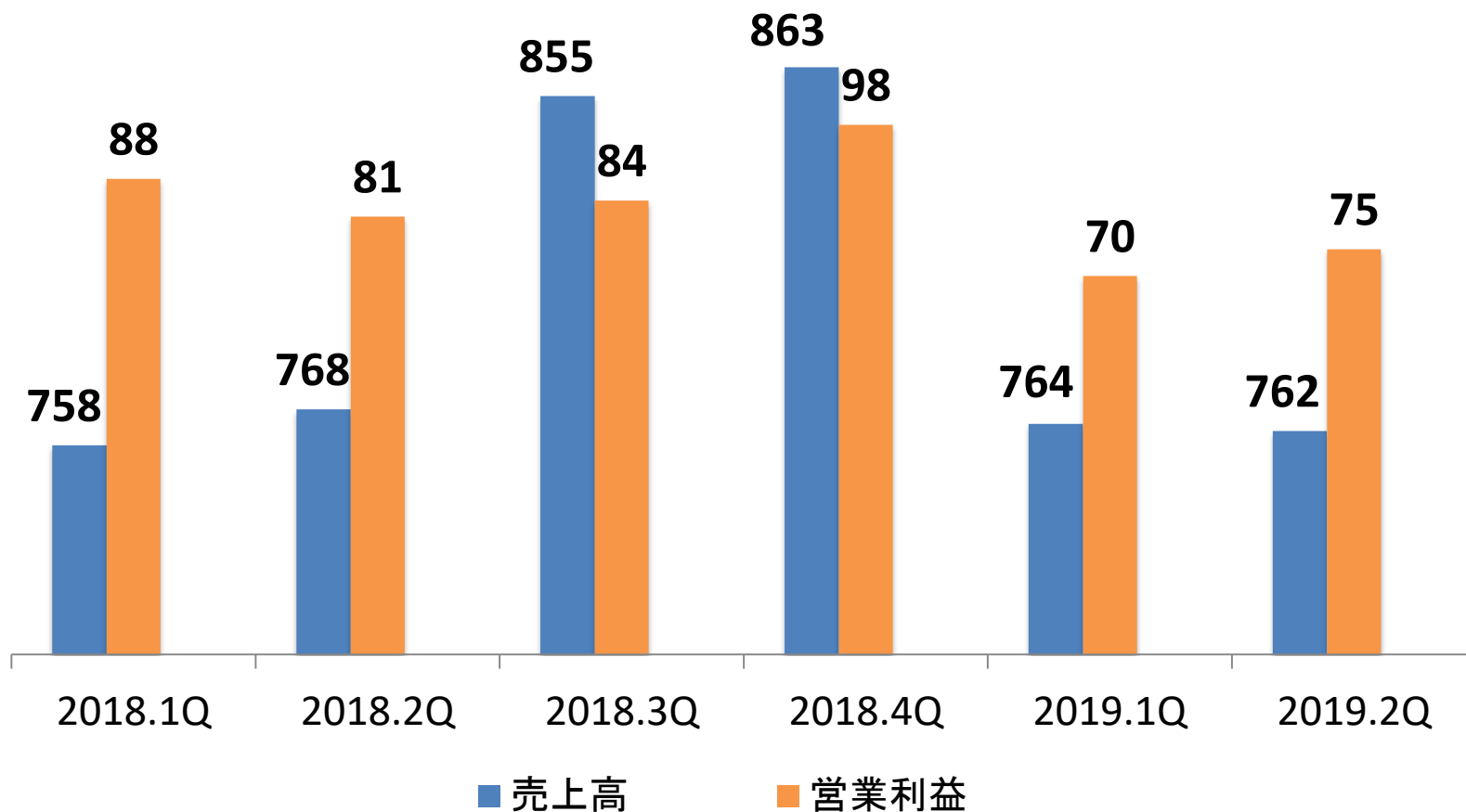


# 4. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)

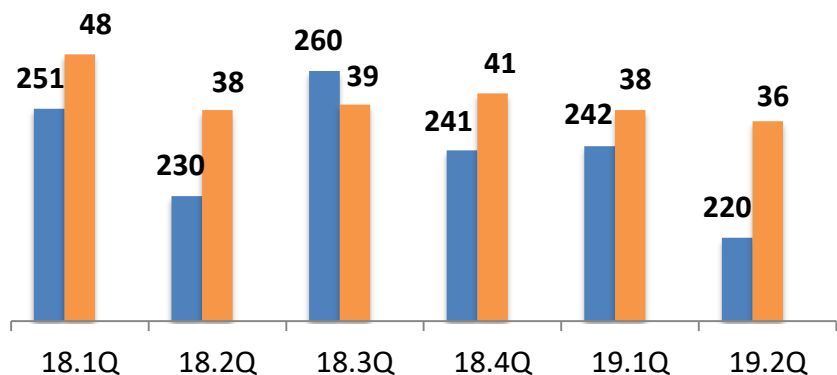


# 4. 業績推移

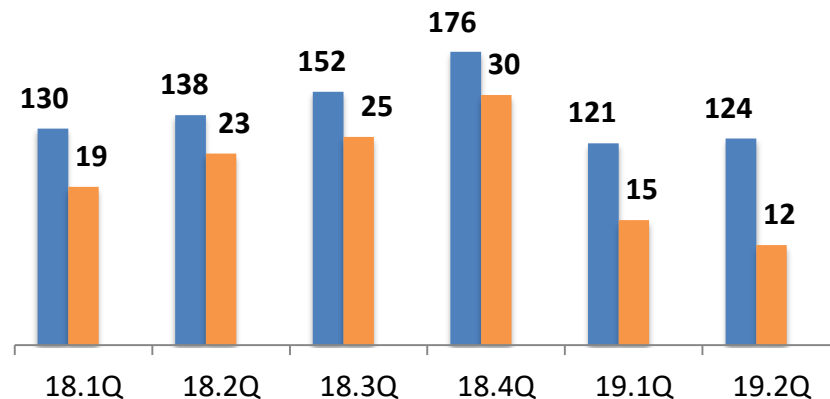
四 半 期

(億円)

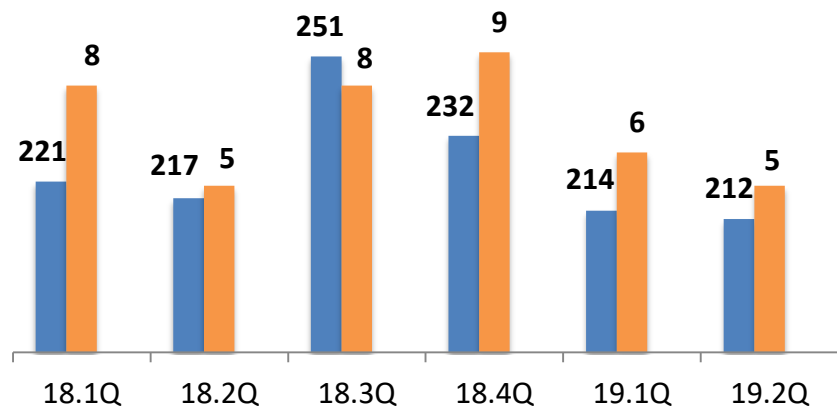
化成品



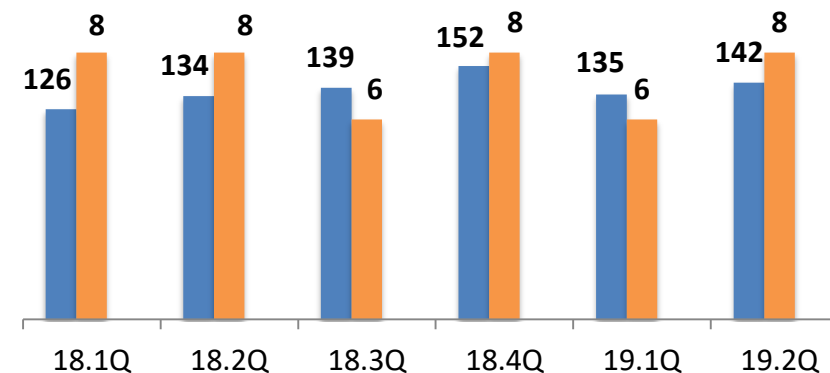
特殊品



セメント



ライフアメニティー

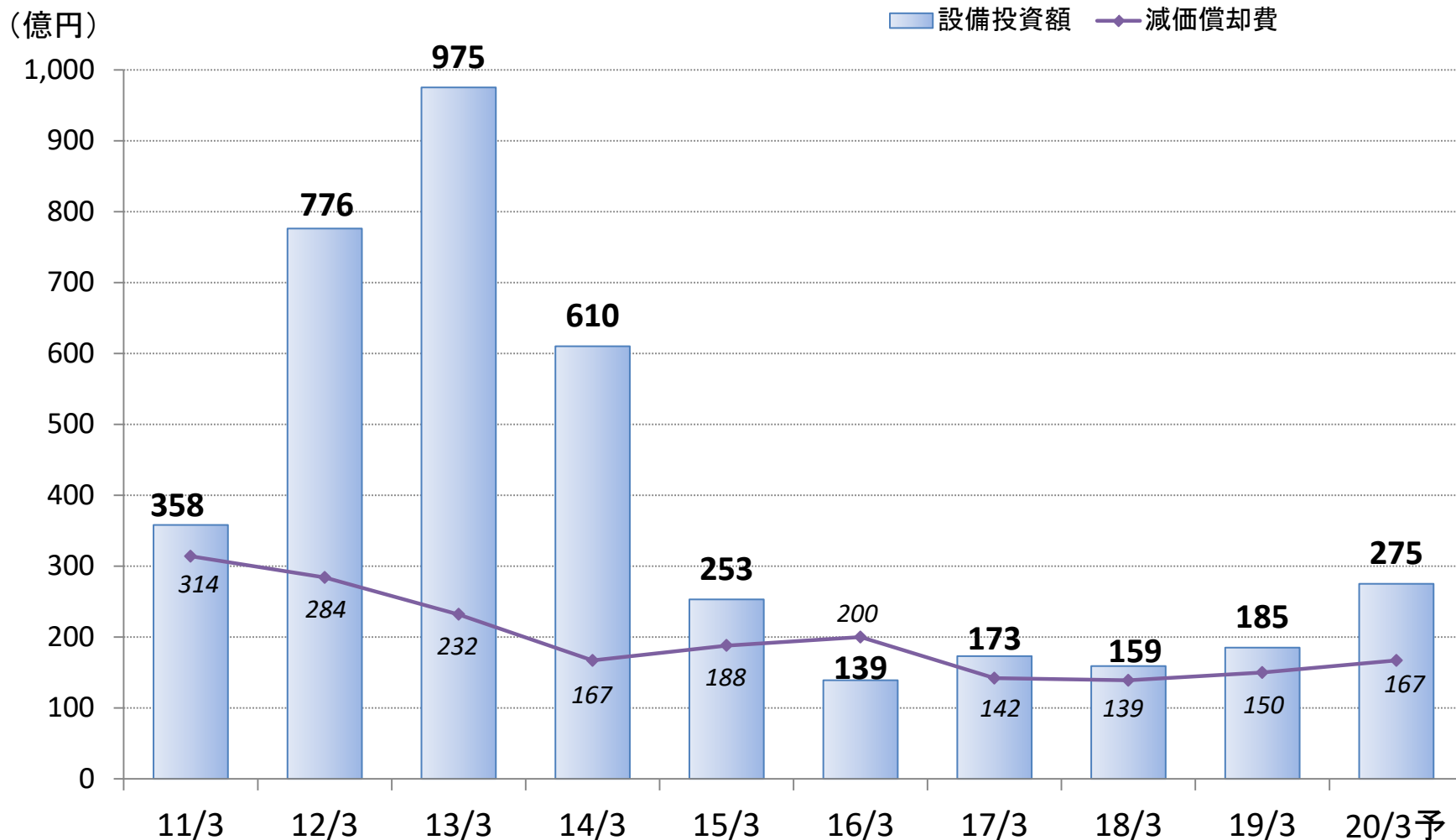


■ 売上高 ■ 営業利益



# 5. 設備投資額・減価償却費推移

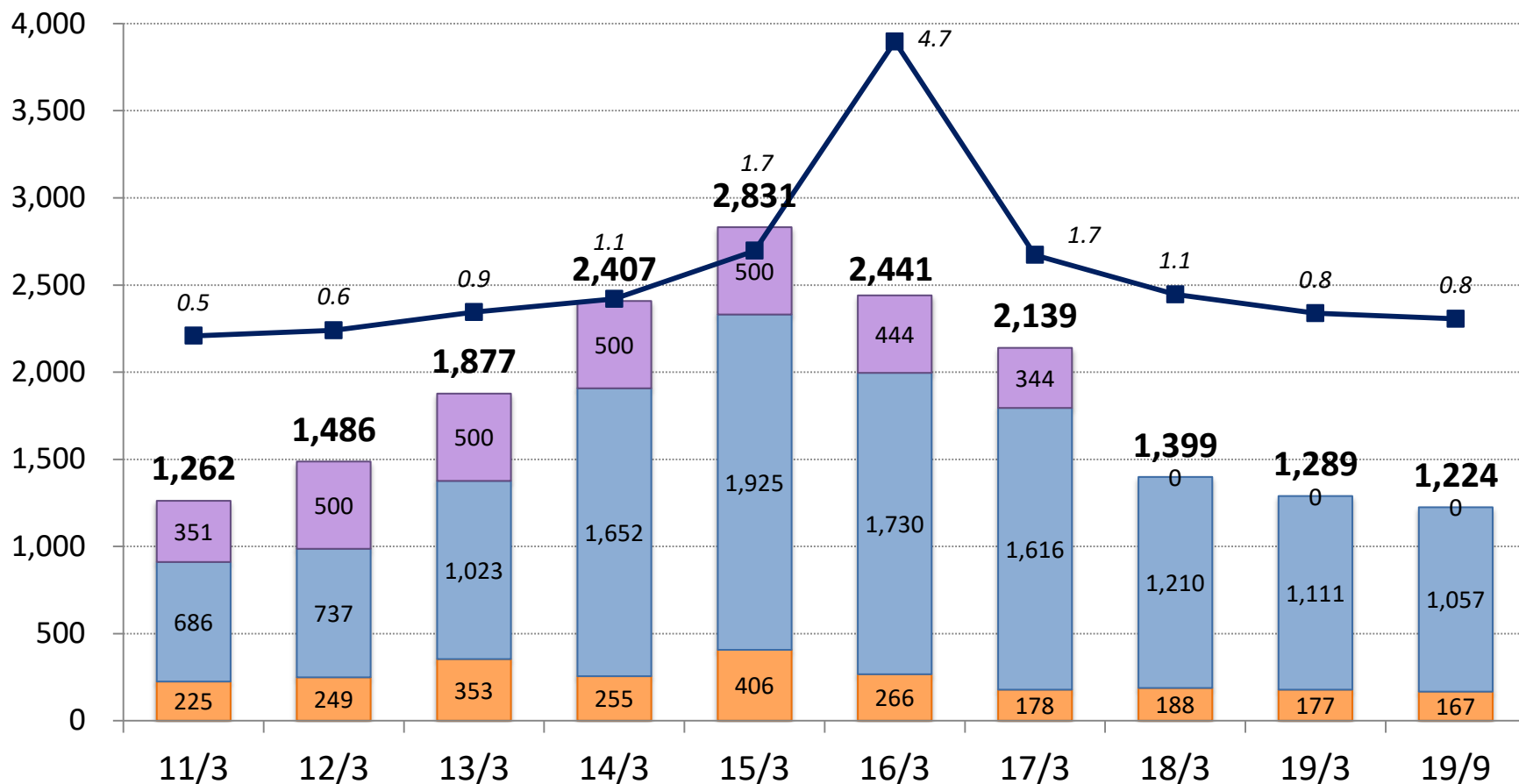
連 結



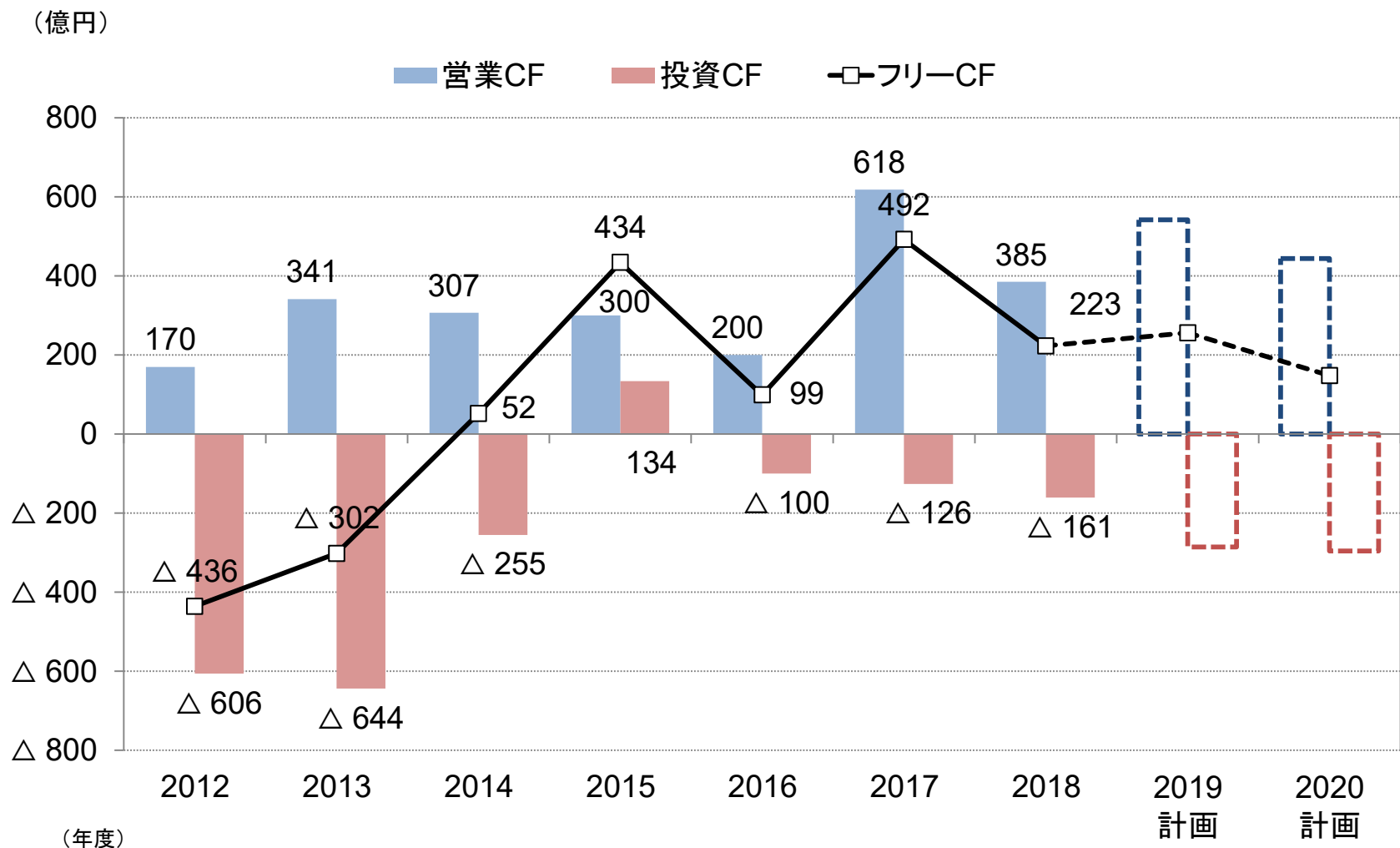
# 6. 有利子負債残高推移

連 結

(億円) 短期借入金(1年内返済長期借入金含む) 長期借入金 社債 D/Eレシオ



# 7. フリー・キャッシュフロー推移



# 本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**

